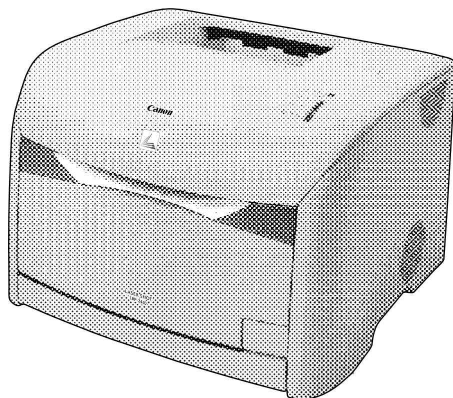
Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT LBP-2410

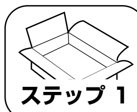
設置時にお読みください



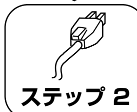


最初にお読みください。

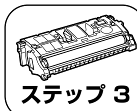
このたびはキヤノンLASER SHOT LBP-2410をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



プリンタを箱から取り出して、設置します P. 6



電源コードとアース線を接続し、電源を入れます P. 8



ドラムカートリッジとトナーカートリッジをセットします P. 10



用紙をセットします P. 17



ソフトウェアをインストールし、コンピュータと接続します P. 22



オプション品を取り付けます P. 30

はじめに

取扱説明書について

本プリンタの CD-ROM には、取扱説明書の電子マニュアル（PDF）が収められています。

CD-ROM をお使いになる前に、本書の「CD-ROM について」（→ P.42）を参照してください。

■ 設置時にお読みください（本書）

本プリンタを設置して印刷ができるようにするまでの準備のしかたについて説明しています。

■ かんたんメンテナンスガイド

トナーカートリッジとドラムカートリッジの交換方法や紙づまりの処理方法の概要を説明しています。

■ ユーザーズガイド

印刷のしかた、日常のお手入れ、困ったときの対処のしかたなどを説明しています。



このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

PDF マニュアルは、「CD-ROM メニュー」からご覧いただけます。（→ CD-ROM メニューについ て：P.42）



PDF マニュアルをご覧になるには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Reader は、付属の CD-ROM「User Software for LBP-2410」に収録されています。

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。



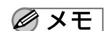
取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。



操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows® operating system：	Windows
LASER SHOT LBP-2410：	LBP-2410

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery、LASER SHOT は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

IBM、PowerPC は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

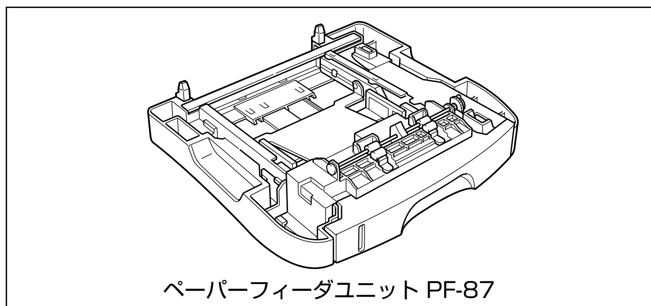
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

オプション品について

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

■ 250 枚ペーパーフィーダ

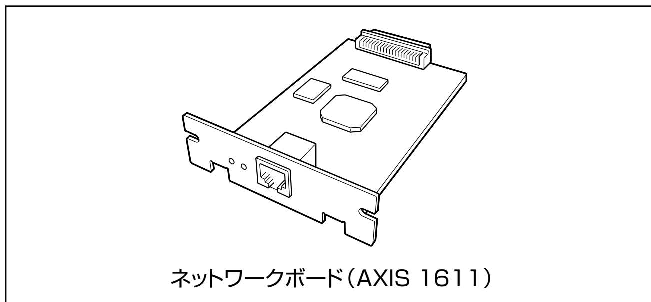
250 枚ペーパーフィーダはプリンタ本体の底面に取り付けることができます。250 枚ペーパーフィーダの給紙カセットには、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙を最大で約 250 枚（64g/m² の用紙）までセットできます。



ペーパーフィーダユニット PF-87

■ ネットワークボード

オプションのネットワークボード（AXIS 1611）を装着すると、LBP-2410 をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。AXIS 1611 の詳細については、アクシスコミュニケーションズ（株）のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）を参照してください。



ネットワークボード（AXIS 1611）

環境について

設置環境

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、以下の条件を満たした場所に設置してください。

重要 本プリンタを設置する前に、「安全にお使いいただくために」（→ユーザーズガイド）を必ずお読みください。

●電源電圧は以下の範囲内でお使いください。

AC100V ± 10%

50 / 60Hz ± 2Hz

●本プリンタの最大消費電力は 860W* 以下です。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、コンピュータ本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊注 :フルオプション装着時は 871W 以下です。ただしこの値は、起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

●電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

・必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。

・アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

警告 必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

●温度、湿度が以下の範囲内の場所でご使用ください。

周囲温度：10 ～ 30℃

周囲湿度：10 ～ 80%RH（結露しないこと）

重要 次のような場合は、プリンタ内部に水滴が生じる（結露）ことがあります。本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、2 時間以上放置してからご使用ください。プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。

・本プリンタが設置されている部屋を急激に暖めた場合

・本プリンタを温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた場合

メモ 超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

●本プリンタは、次のような場所に設置してください。
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

警告 アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

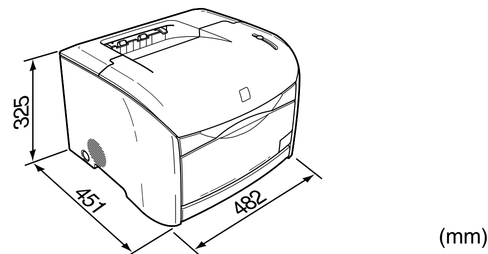
注意
- 本プリンタを次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - 雨や雪が降りかかるような場所
  - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要 本プリンタは次のような場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所
- 風通しの悪い場所
- 磁気や電磁波を発生する機器の近く
- 実験室など、化学反応を起こすような場所
- 空気中に、塩分やアンモニアガスなどの腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）

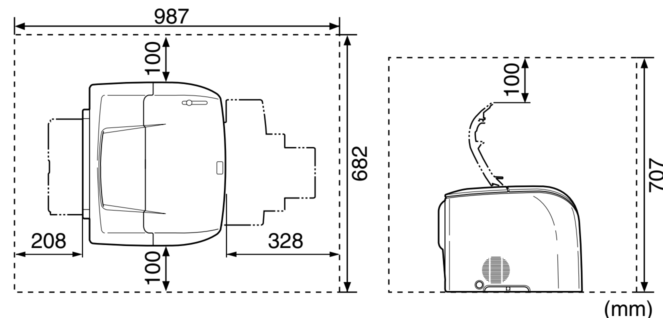
設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

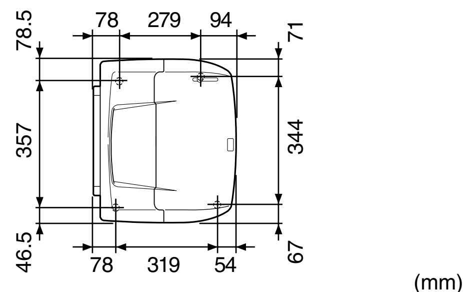
• プリンタの寸法



• 周囲に必要なスペース



• 足の位置



システム環境

OS ソフトウェア環境

・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
・Microsoft Windows 2000/XP 日本語版

動作環境

	Windows 98/Me	**Windows 2000/XP**
CPU	Pentium 300MHz以上	Pentium 300MHz以上
メモリ（RAM）	64MB以上	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク	20MB以上	15MB以上

＊IBM-PC互換機

推奨環境

	Windows 98/Me	**Windows 2000/XP**
CPU	PentiumIII 600MHz以上	PentiumIII 600MHz以上
メモリ（RAM）	64MB以上	Windows 2000：128MB以上 Windows XP：256MB以上

インタフェース環境

USB 接続時

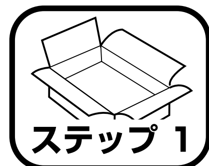
・Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
・Windows 2000/XP：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）

ネットワーク接続時（接続するにはオプションのネットワークボードが必要です。）

・コネクタ：10Base-T または 100Base-TX
・プロトコル：TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI（Windows XP は TCP/IP のみ）



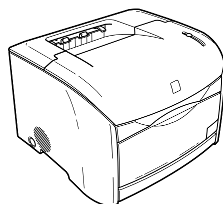
サウンドをお使いになる場合は、PC 音源（および PCM 音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PC スピーカドライバ（speaker.drv など）はお使いにならないでください。



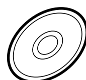
プリンタを箱から取り出して、設置します

パッケージの内容を確認する

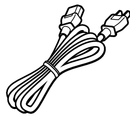
プリンタを設置する前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。



□プリンタ本体



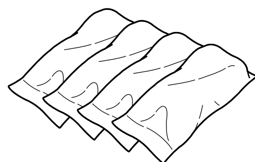
□CD-ROM
「User Software for LBP-2410」
・CAPT(Canon Advanced Printing Technology)ソフトウェア
・USBクラスドライバ
・FontGallery
・設置時にお読みください（本書）
・ユーザーズガイド



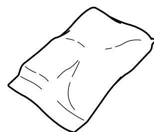
□電源コード



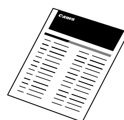
□アース線



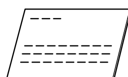
□トナーカートリッジ×4
（EP-87 Toner Cartridge）



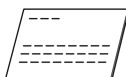
□ドラムカートリッジ
（EP-87 Drum Cartridge）



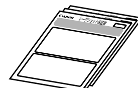
□FontGallery
全書体見本



✔設置時にお読みください（本書）



□ かんたんメンテナンスガイド



□保証登録書/
封筒セット



本プリンタにはインタフェースケーブルは付属していません。お使いのコンピュータ、または接続方法に合わせてご用意ください。

設置場所に運ぶ

設置場所が確保できたら、本プリンタをパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。



- 本プリンタを設置する場合は、本体の質量に耐えられる机などに設置してください。
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- オプションの 250 枚ペーパーフィーダを取り付けるときは、プリンタ本体をパッケージから取り出す前に 250 枚ペーパーフィーダを設置してください。250 枚ペーパーフィーダの設置方法については、「250 枚ペーパーフィーダの取り付け」（→P.30）を参照してください。

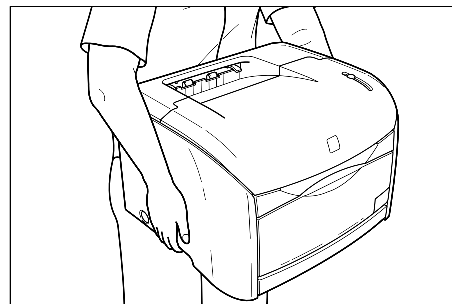
1 **プリンタ本体をパッケージから取り出します。**



プリンタ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

2 **プリンタ本体を設置場所へ運びます。**

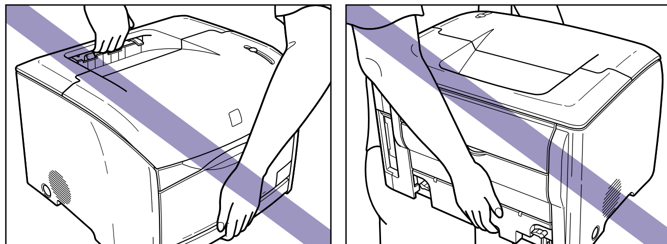
本体両側面の運搬用取っ手に手を掛けて、両手でしっかり持ってください。



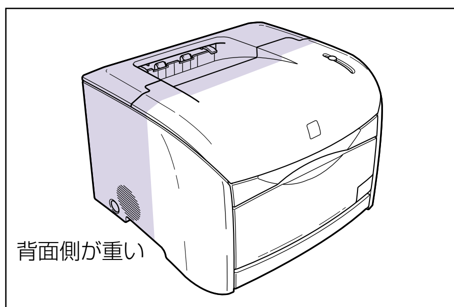


- 本プリンタは、ドラムカートリッジとトナーカートリッジを取り付けていない状態で約 15kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

- 絶対に本体前面や排紙口、本体背面など、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。



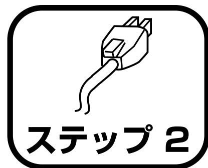
- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないよう注意してください。落としてけがの原因になることがあります。



3 設置場所にゆっくりとおろします。


注意 プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。


重要 設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。



電源コードとアース線を接続し、電源を入れます

重要

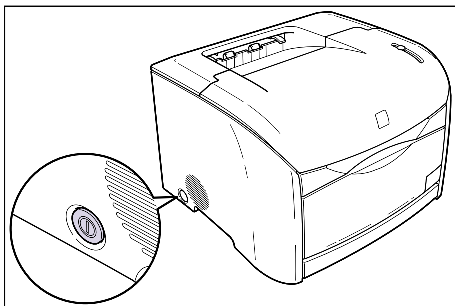
- プリンタとコンピュータのアース線を両方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ、故障の原因になることがあります。
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障するおそれがあります。

メモ

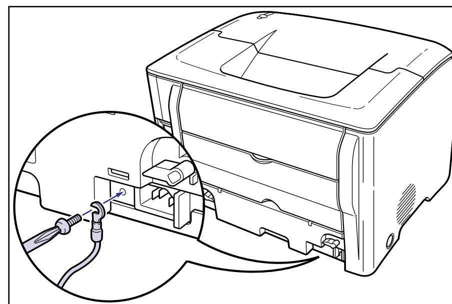
アース線の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。**

電源スイッチが押し込まれていない状態がオフです。



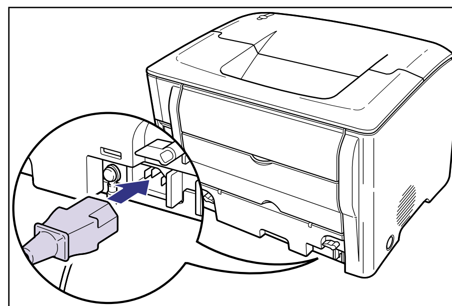
2 **アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。**



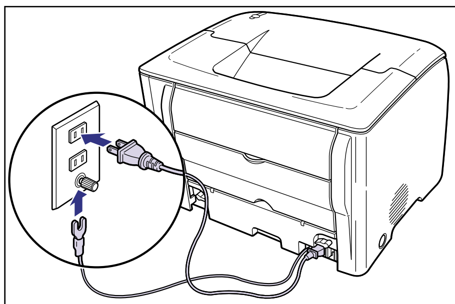
重要

アース線が電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

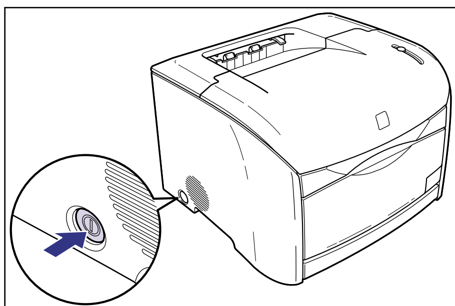
3 **電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。**



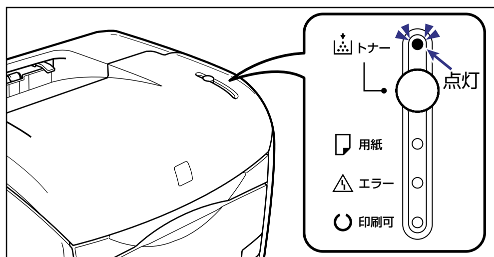
4 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

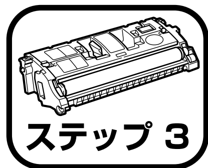


5 電源スイッチを押して、プリンタの電源をオンにします。



しばらくするとトナーランプ（赤色）が点灯します。





ドラムカートリッジとトナーカートリッジをセットします

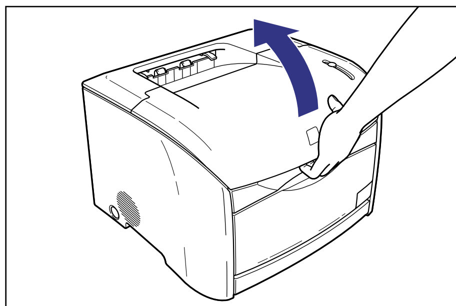


ドラムカートリッジやトナーカートリッジの取り扱いについては、ユーザーズガイド「第５章 日常のメンテナンス」を参照してください。

⚠注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

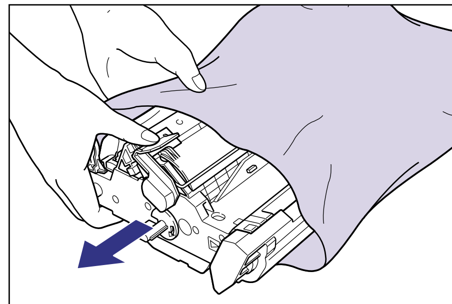
1 上カバーを開けます。

上カバーは前面の取っ手を持って、止まるまでいっぱいに開けます。



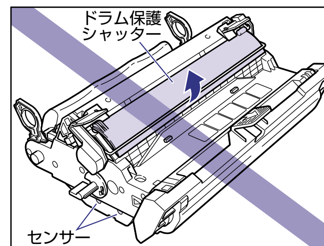
2 ドラムカートリッジを保護袋から取り出します。

保護袋はドラムカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

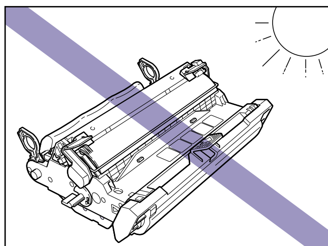




- ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要になります。
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、センサーなど指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

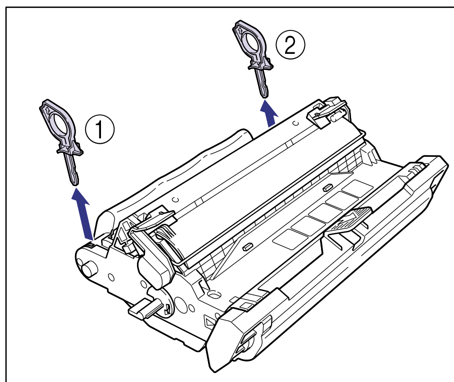


- ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

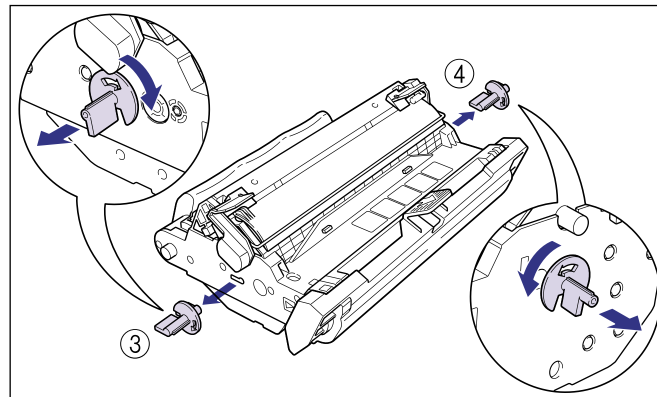


3 梱包材（7 個）を取り外します。

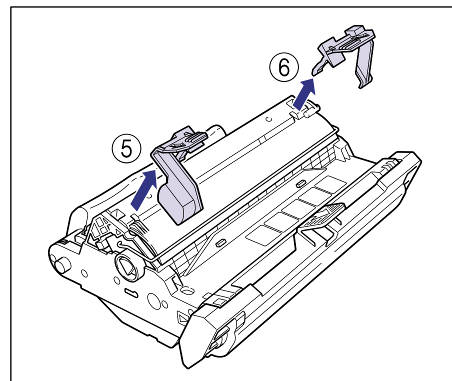
① と ② の梱包材は、取っ手に指を掛け矢印の方向に引き抜きます。



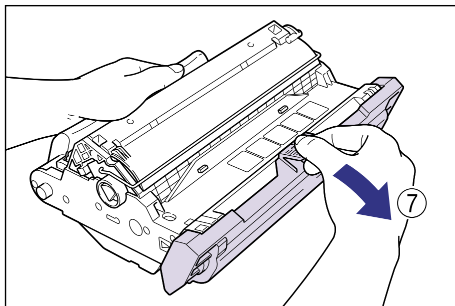
③ と ④ の梱包材は、止まるまで矢印の方向に回してから引き抜きます。



⑤ と ⑥ の梱包材は、取っ手を持って矢印の方向へ引き抜きます。

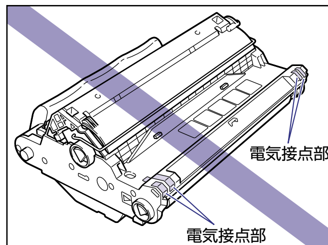


⑦の梱包材は、図のように取っ手を持って取り外します。

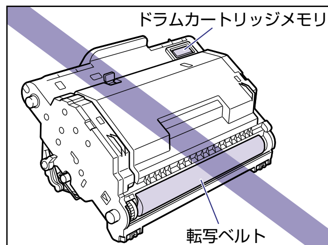


重要

- 電気接点部は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



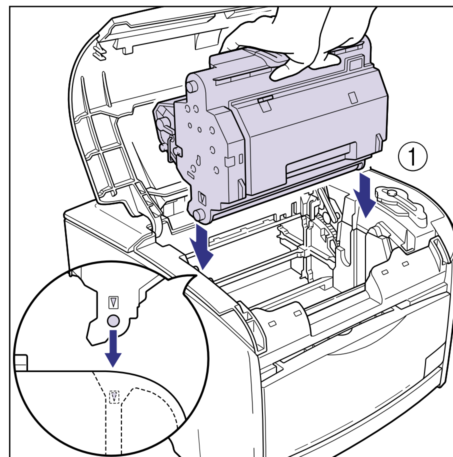
- 転写ベルトは、持ったり触れたりしないでください。印字品質が低下します。また、ドラムカートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。



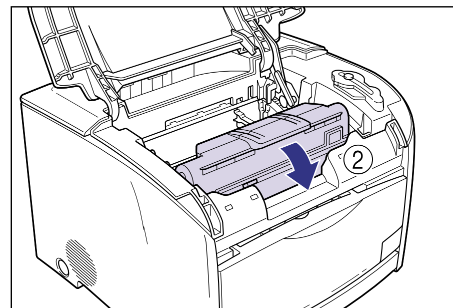
- ドラムカートリッジは、梱包材を取り外した状態で放置せず、できるだけ早く本体に取り付けてください。
- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

4 ドラムカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

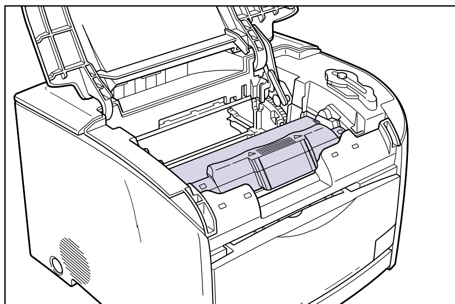
ドラムカートリッジの三角マークを本体の三角マークに合わせて差し込みます①。



ドラムカートリッジを手前に倒してロックします②。

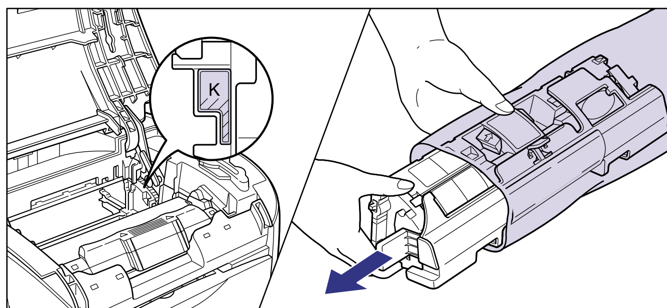


重要　ドラムカートリッジは図のような状態になるまで確実にロックしてください。

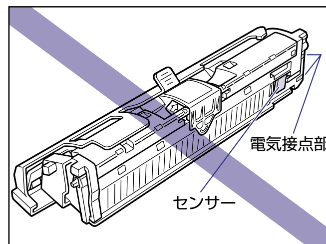


5 **トナーカートリッジホルダに貼られているシールの色を確認し、同じ色のトナーカートリッジを保護袋から取り出します。**

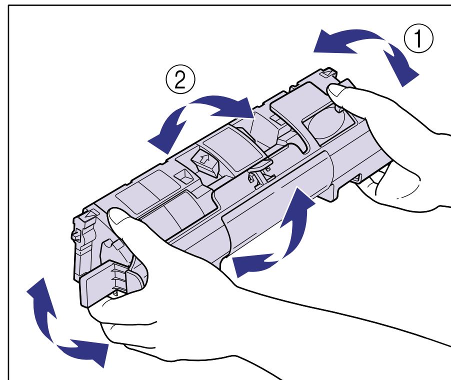
保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。



重要
- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。
- 電気接点部やセンサーなど指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になります。



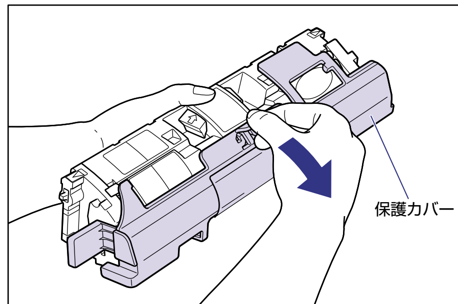
6 **トナーカートリッジを図のように持ち､ゆっくりと左右に５～６回振り①、次に上下に５～６回振って②、内部のトナーを均一にならします。**



重要
- トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

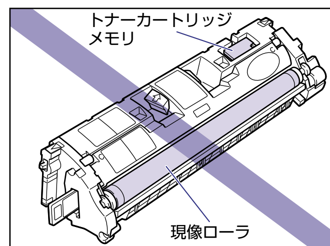
7 保護カバーを取り外します。

保護カバーは、図のように取っ手を持って取り外します。



重要

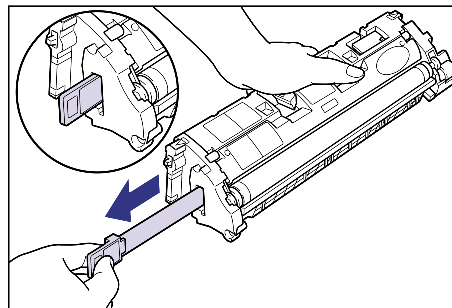
- 現像ローラは、持ったり触れたりしないでください。印字品質が低下します。また、トナーカートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- 取り外した保護カバーは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

8 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約45cm）を引き抜きます。

シーリングテープは、タブを持ちまっすぐに引き抜きます。

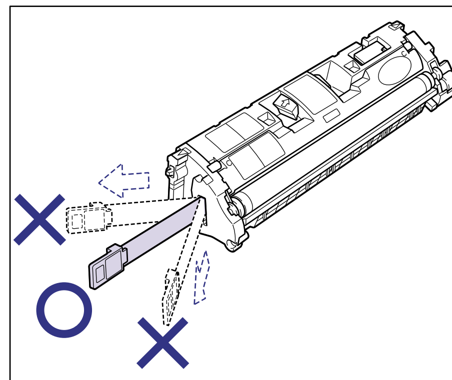


注意

シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

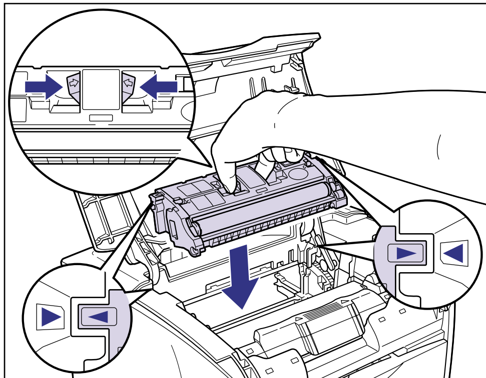
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。



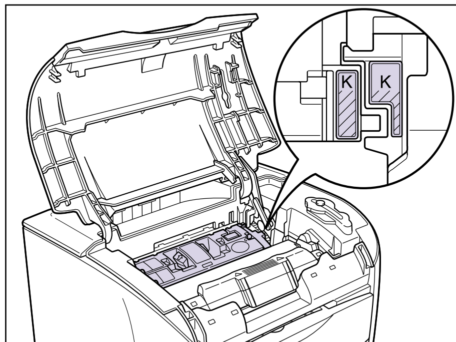
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

9 トナーカートリッジの取っ手を持って、本体に取り付けます。

トナーカートリッジの三角マークを本体の三角マークに合わせて取り付けます。

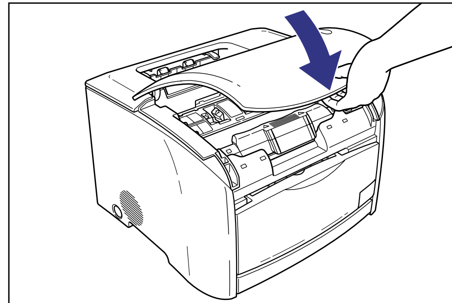


トナーカートリッジが正しく取り付けられると、トナーカートリッジとトナーカートリッジホルダに貼られているシールが図のように合います。



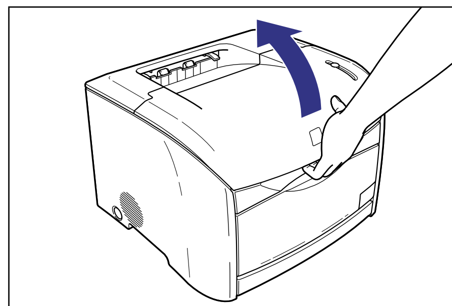
10 上カバーを閉めます。

上カバーは取っ手を最後まで持ってゆっくりと閉めます。

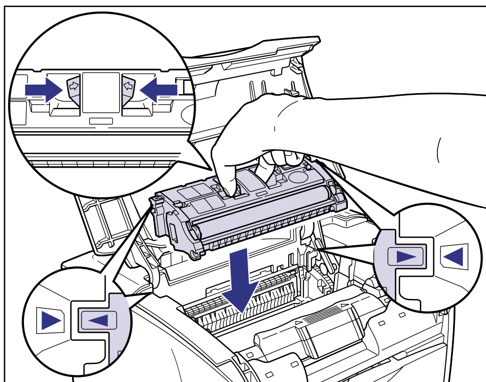


トナーカートリッジホルダが次に取り付ける色の位置まで回転します。トナーカートリッジホルダの回転中は上カバーを開けないでください。

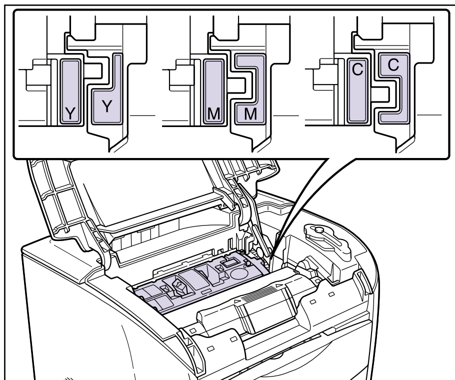
11 プリンタの動作音（約１秒）が止まったら、プリンタの上カバーを開けます。



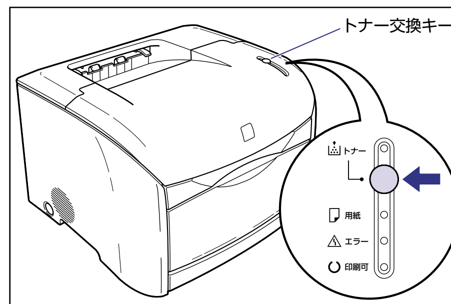
12 手順５～１１を繰り返して、すべての色のトナーカートリッジを取り付けます。



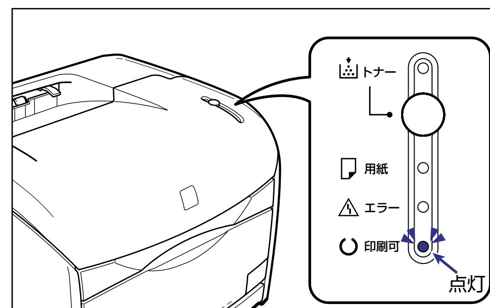
トナーカートリッジが正しく取り付けられると、トナーカートリッジとトナーカートリッジホルダに貼られているシールが図のように合います。

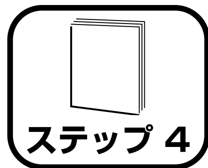


13 上カバーを閉め、◯（トナー交換）を２秒間押します。



しばらくするとトナーランプが消え、印刷可ランプ（青色）が点灯します。





用紙をセットします

本プリンタは、標準状態では手差しトレイからのみ給紙することができます。オプションの 250 枚ペーパーフィーダを装着すると、合計 2 つの給紙元から給紙することができます。
ここでは、普通紙を手差しトレイにセットする方法のみを記載します。普通紙以外の用紙を手差しトレイにセットする場合や、250 枚ペーパーフィーダを使用する場合は、以下の項目を参照してください。

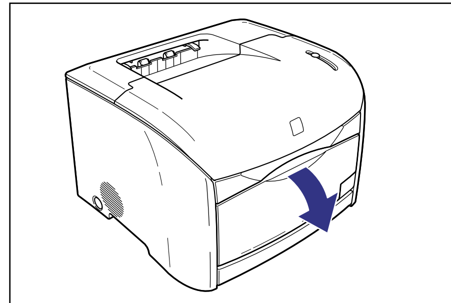
●OHP フィルム、はがき、封筒を手差しトレイにセットする場合
→ユーザーズガイド「第 2 章 給紙／排紙のしかた」
●オプションの 250 枚ペーパーフィーダをプリンタに取り付ける場合
→ 250 枚ペーパーフィーダの取り付け：P.30
●250 枚ペーパーフィーダの給紙カセットに用紙をセットする場合
→給紙カセットに用紙をセットする：P.33

手差しトレイに用紙をセットする

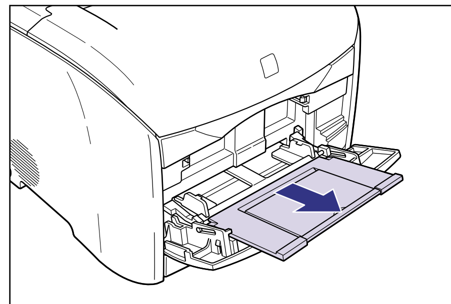
手差しトレイには横幅が 76.2 ～ 215.9mm、長さが 127.0 ～ 355.6mm の範囲の用紙を約 125 枚（64g/m^2 の用紙）までセットできます。OHP フィルムやラベル用紙、はがき、封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。

1 **手差しトレイを開けます。**

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



2 **補助トレイを引き出します。**

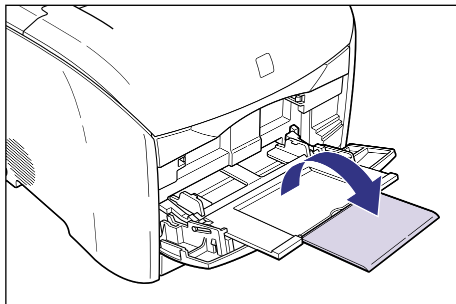


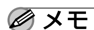


手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

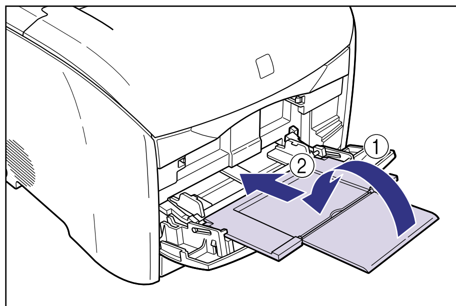
ステップ 4

3 A4 などの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

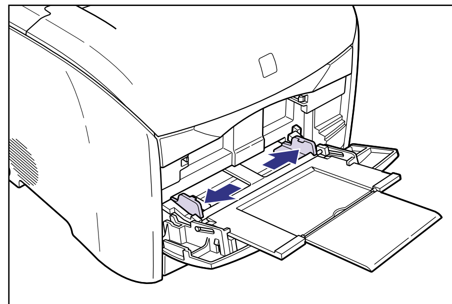




手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除き、開けるときと逆の手順で閉めます。手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。

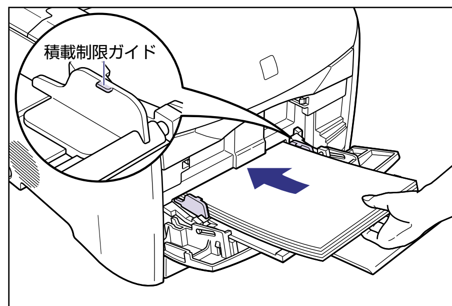


4 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



5 用紙のプリント面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイドの下を通してください。



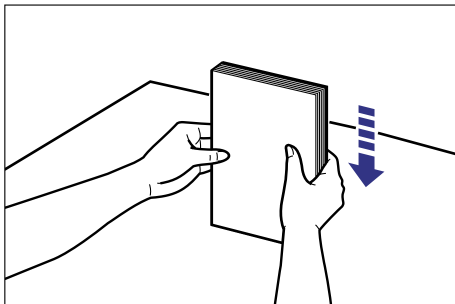


用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

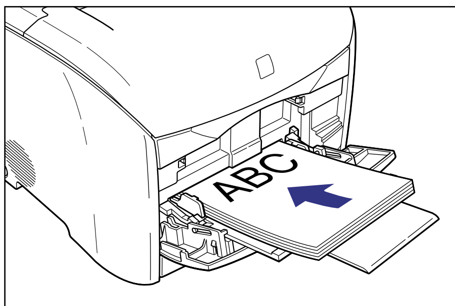


- 手差しトレイにセットできる枚数は、用紙の種類によって異なります。詳しくは、ユーザーズガイド「第 2 章 給紙／排紙のしかた」を参照してください。
- 積載制限ガイドと用紙との間に十分すき間があることを確認してください。すき間がない場合は、用紙を少し減らします。
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。

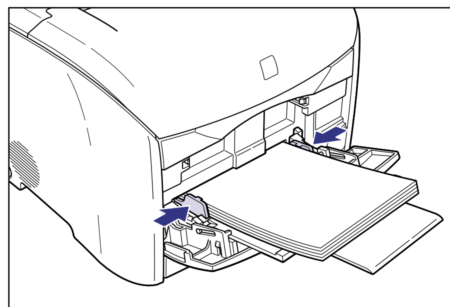
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所で良く揃えてからセットしてください。



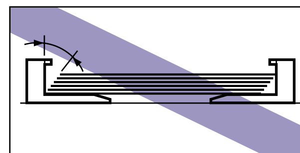
メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端が奥になるようにセットします。

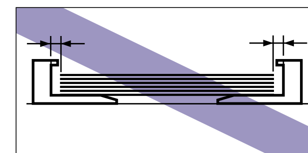


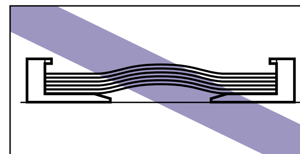
6 用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。



重要
- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。







- プリント中は、手差しトレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

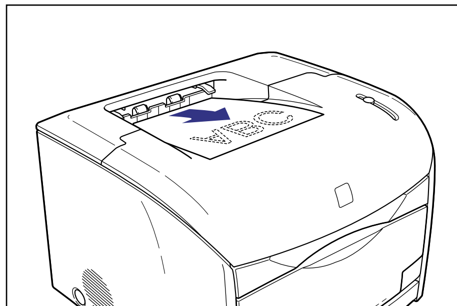
ステップ 4

排紙先の選択

本プリンタには、本体上面の「排紙トレイ」と本体背面の「サブ排紙トレイ」の２つの排紙先があります。

■ **排紙トレイ**

本体上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。

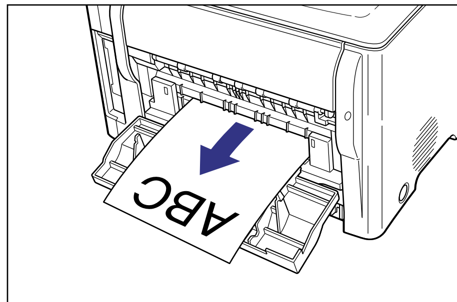




排紙トレイには、普通紙で約 125 枚（$64g/m^2$ の用紙）まで積載することができます。

■ **サブ排紙トレイ**

本体背面のサブ排紙トレイに印字した面が上向き（フェースアップ）で排紙されます。サブ排紙トレイへの排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすいOHP フィルムやラベル用紙、はがき、封筒などに印字するときに適しています。

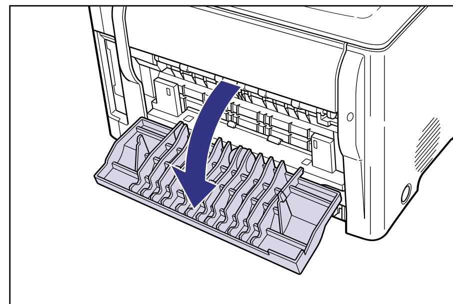




サブ排紙トレイに排紙された用紙は、排紙されるたびに １ 枚ずつ取り除いてください。

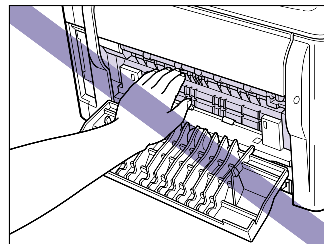
サブ排紙トレイに切り替える

排紙先をサブ排紙トレイに切り替えるときは、サブ排紙トレイを開けます。



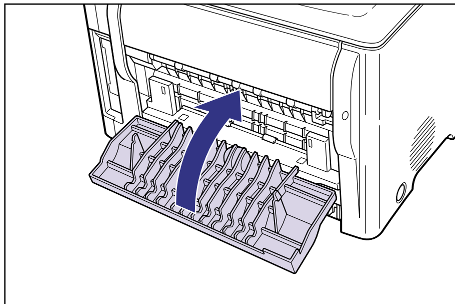


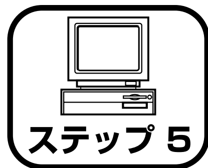
サブ排紙トレイの内部には定着器があります。定着器周辺は、使用中に高温になりますので定着器周辺に触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



排紙トレイに切り替える

排紙先を排紙トレイに切り替えるときは、サブ排紙トレイを閉めます。





ソフトウェアをインストールし、コンピュータと接続します

ここでは、プリンタドライバ、USBクラスドライバをインストールします。本プリンタの USB インタフェースは、接続するコンピュータの OS によって以下のようになっています。

● Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）

● Windows 2000/XP：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）

本プリンタをネットワーク環境で使用する場合は、「ネットワークボード（AXIS 1611）の取り付け」（→ P.38）を参照してください。



- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。



- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・コンピュータの電源を入れたあとの OS（Windows）起動中
  - ・プリント中
- コンピュータおよびプリンタの電源がオンになっている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いたあとに必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
- USB ケーブルは、インストールする前に接続しないでください。正しくインストールできません。USB ケーブルは、必ずインストールの途中（手順８ → P.24）で接続してください。
- Windows 2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

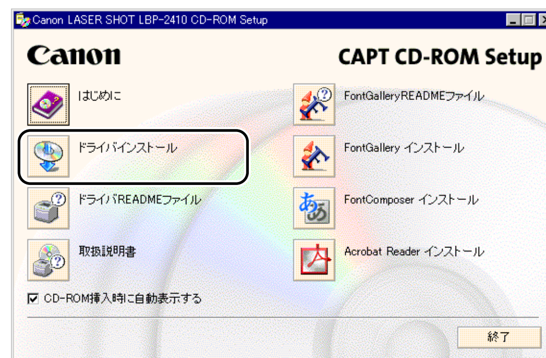
ステップ 5

1 コンピュータとプリンタが USB ケーブルで接続されていないことを確認します。



- USB ケーブルは、インストールの手順の途中（手順８ → P.24）で接続します。
- プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

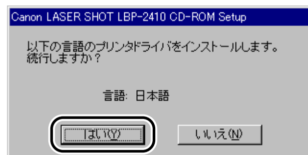
2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、CD-ROM メニューの［ドライバインストール］をクリックします。





CD-ROM メニューが表示されない場合は、［スタート］メニューの［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:￥Japanese￥CNAC1MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。
（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

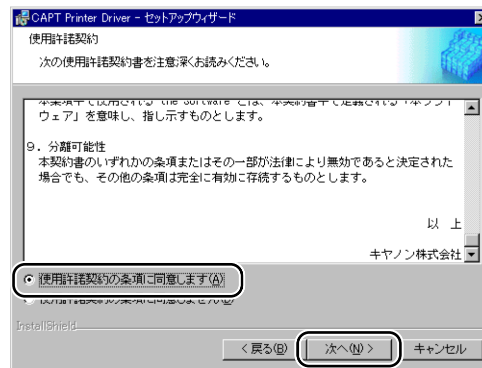
3 「以下の言語のプリンタドライバをインストールします。続行しますか？」というメッセージが表示されますので、［日本語］が表示されていることを確認し、［はい］をクリックします。



4 ［次へ］をクリックします。

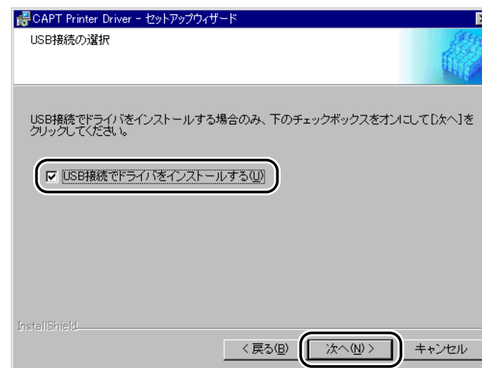


5 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



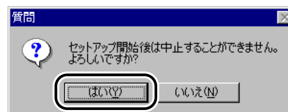
お使いの環境によっては、インストーラの起動時にコンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

6 ［USB接続でドライバをインストールする］にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。

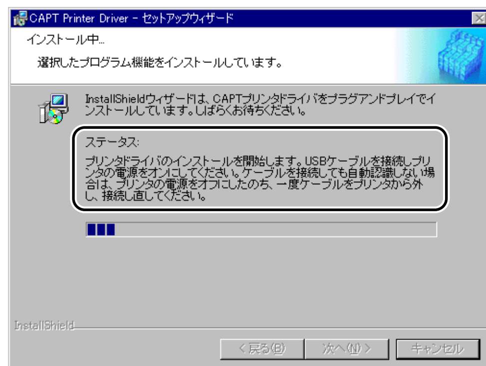


ステップ 5

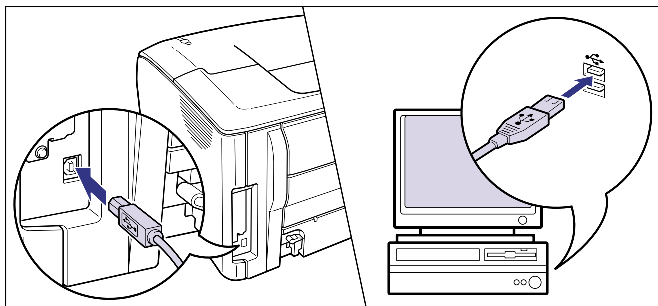
7 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。



8 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

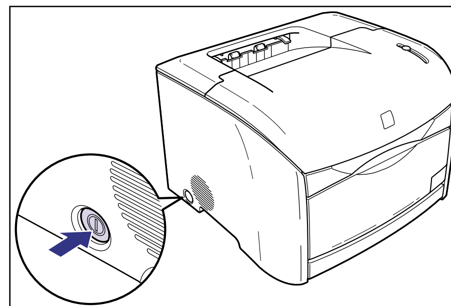


プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

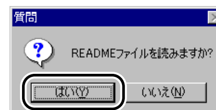


プリンタドライバおよびUSBクラスドライバのインストールが自動的に開始されます。

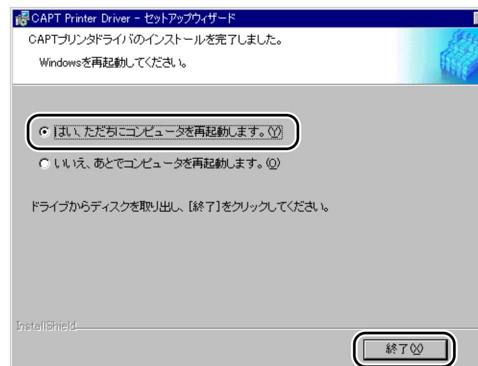
プリンタの電源が入っていない場合は、電源スイッチを押して、プリンタの電源をオンにします。



9 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。



10 インストール完了の画面が表示されますので、［はい、ただちにコンピュータを再起動します］を選択し、［終了］をクリックします。



コンピュータの再起動が自動的に開始されます。



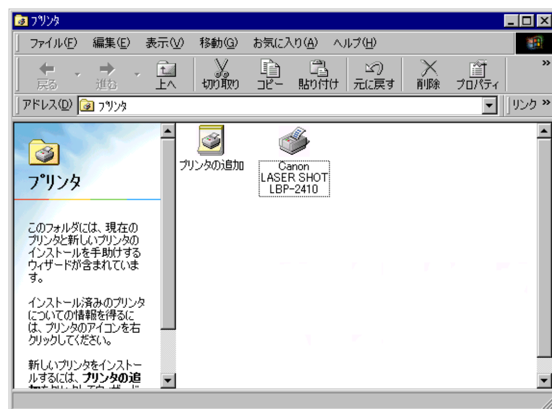
ドライバのインストールが正常に終了しなかった場合は、CAPT ソフトウェアをアンインストールし（インストールできなかったときには→P.27）、コンピュータを再起動して、もう一度インストールの手順をやりなおしてください。

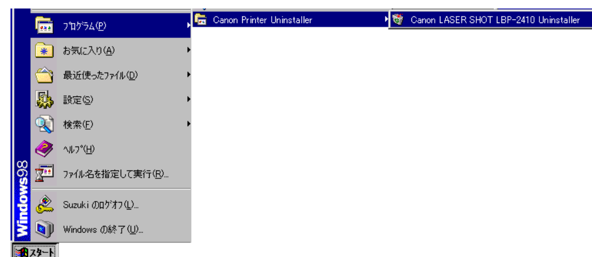
インストールが完了すると

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、以下のようにアイコンやフォルダが作成されます。

■ Windows 98/Me/2000 の場合

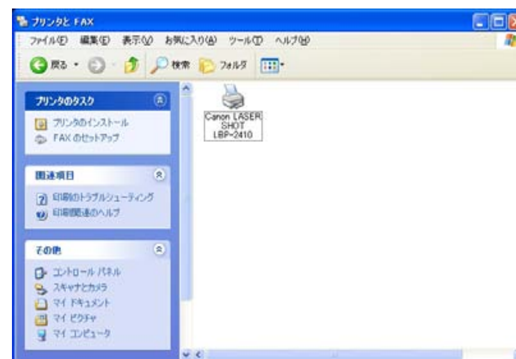
・［プリンタ］フォルダに［Canon LASER SHOT LBP-2410］アイコンが表示されます。
・［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

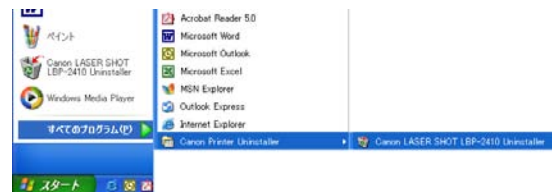




■Windows XP の場合

・［プリンタと FAX］フォルダに［Canon LASER SHOT LBP-2410］アイコンが表示されます。
・［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。





ステップ 5

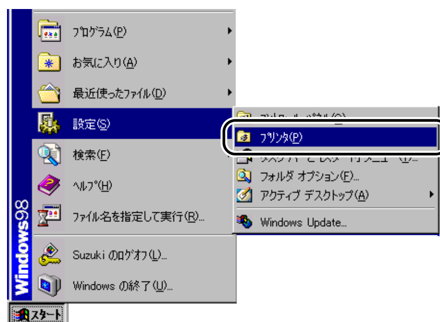
テストページの印刷方法

初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順で必ずテスト印刷を行ってください。

メモ　ここでは、Windows 98 をお使いの場合の画面で説明しています。

1　［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000の場合は、［スタート］メニュー→［設定］→［プリンタ］の順でクリックします。
Windows XP Professional の場合は、［スタート］メニュー→［プリンタとFAX］の順でクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順でクリックします。



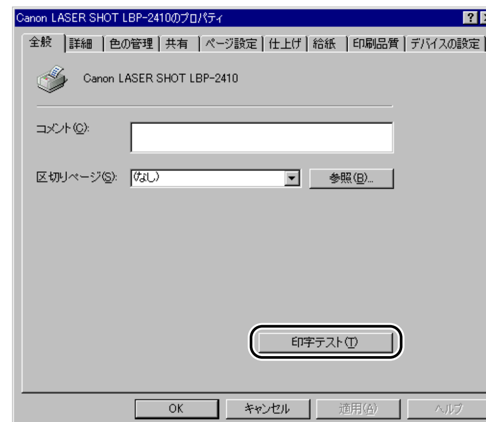
［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

2　［Canon LASER SHOT LBP-2410］アイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3　［全般］ページの［印字テスト］（Windows98/Me の場合）、［テストページの印刷］（Windows2000/XP の場合）をクリックします。



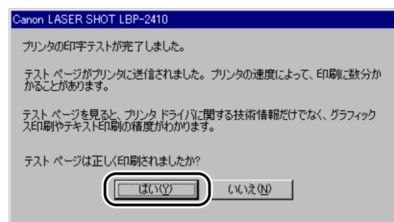
テストページの印刷が開始されます。

ステップ 5



Windows 98/Me をお使いの場合は、[区切りページ］を設定して印刷することはできません。

4 **正しく印字された場合は、［はい］をクリックします。**





テストページが正しく印刷されなかった場合は、CAPT ソフトウェアをアンインストールし（インストールできなかったときには→P.27）、コンピュータを再起動して、もう一度インストールの手順をやりなおしてください。

これでプリンタの準備は終了です。
プリンタの機能を十分に活用していただくために、ユーザーズガイドを必ずお読みください。

インストールできなかったときには

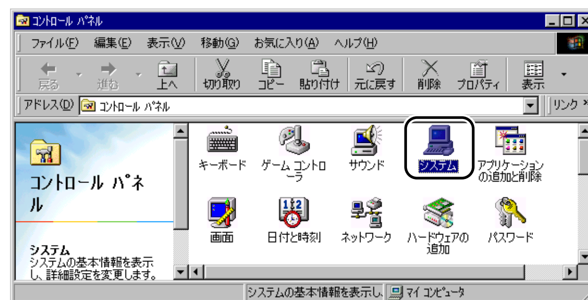
インストール中に問題が起こったり、正しくテストページが印刷できなかったときは、「USB クラスドライバの削除」（→ P.27）を行うか、「CAPT ソフトウェアの削除」（→ P.29）を行って、もう一度 CAPT ソフトウェアをインストールしなおしてください。

USB クラスドライバの削除

1 **USBケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。**

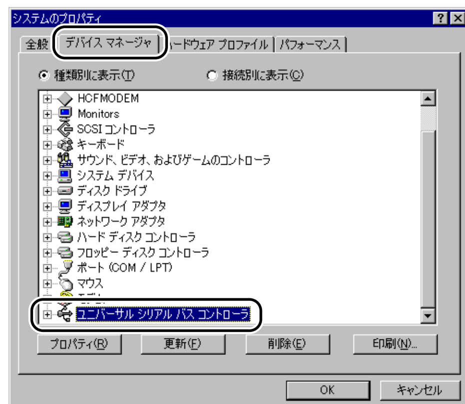
Windows XP Professional の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［システム］の順でクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［システム］の順でクリックします。



ステップ 5

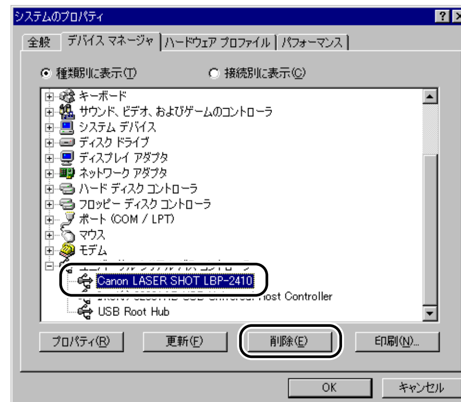
3 **［システムのプロパティ］ダイアログボックスを表示させて［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。**

Windows 2000/XP の場合は［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］の順にクリックし、［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックします。



4 **［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にある以下の USB クラスドライバのみを削除します。**

Windows 98 の場合は［Canon LASER SHOT LBP-2410］を、Windows Me の場合は［Canon CAPT USB Device］を選択して、［削除］をクリックします。
Windows 2000/XP の場合は［USB 印刷サポート］または［Canon CAPT USB Device］を表示させ、［操作］メニューの［削除］を選択します。



重要

- USB クラスドライバが［その他のデバイス］の下にある場合も正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、［Canon LASER SHOT LBP-2410］、［Canon CAPT USB Device］、または［不明なデバイス］のいずれかを選択して削除してください。
- ［他のデバイス］や［device driver］などの他の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合、Windows が正常に動作しなくなることがあります。

5 **［デバイス削除の確認］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。**



ステップ 5

6 ［閉じる］をクリックします。

［システムのプロパティ］が閉じます。

7 USB ケーブルをパソコンから外し、Windows を再起動します。

再起動が終了したら「ステップ5」を参照してもう一度インストールしてください。

CAPT ソフトウェアの削除

1 次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。

・ヘルプファイル
・プリンタステータスウィンドウ
・コントロールパネル
・その他のアプリケーションプログラム

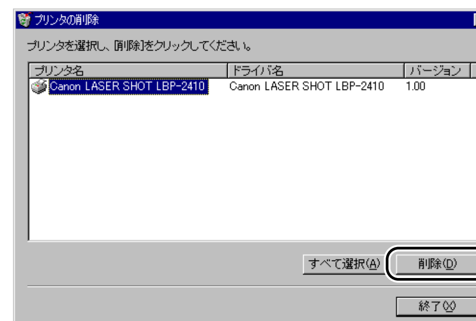
2 ［スタート］メニュー→［プログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LASER SHOT LBP-2410 Uninstaller］の順にクリックします。

Windows XP の場合は、［スタート］メニュー→［すべてのプログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LASER SHOT LBP-2410 Uninstaller］の順にクリックします。

［プリンタの削除］ダイアログボックスが表示されます。

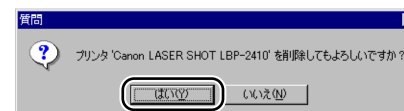
3 ［Canon LASER SHOT LBP-2410］を選択します。

4 ［削除］をクリックします。



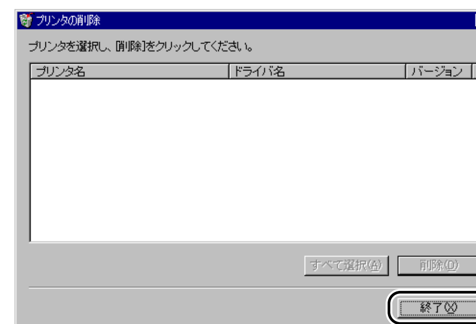
確認メッセージが表示されます。

5 ［はい］をクリックします。

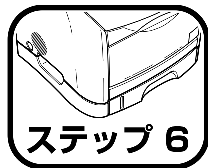


アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

6 ［終了］をクリックします。



［プリンタの削除］ダイアログボックスが閉じます。



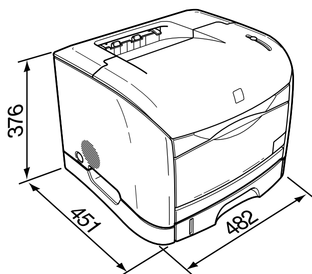
オプション品を取り付けます

250 枚ペーパーフィーダの取り付け

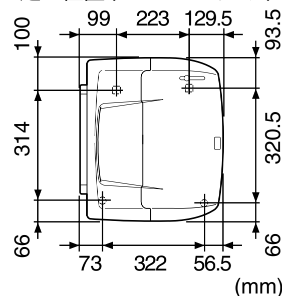
設置スペース

本プリンタに 250 枚ペーパーフィーダを装着して使用する場合の各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

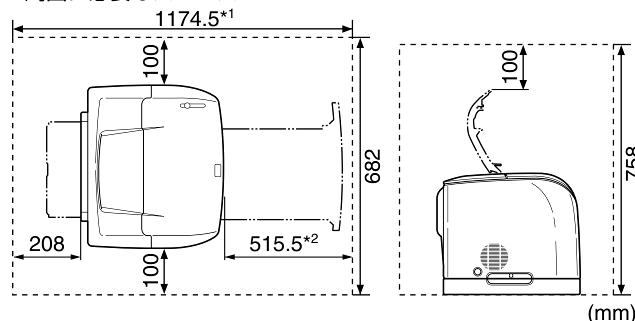
• プリンタの寸法



• 足の位置（ペーパーフィーダ）



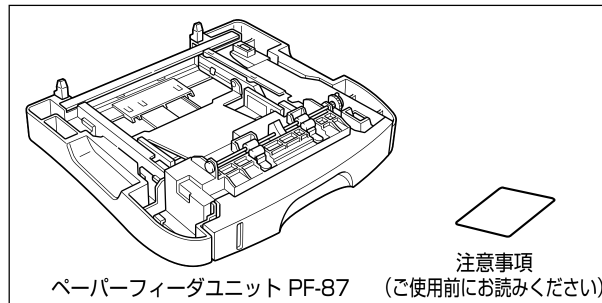
• 周囲に必要なスペース



*[1] リーガルサイズの用紙を使用する場合は、1232mmになります。
*[2] リーガルサイズの用紙を使用する場合は、573mmになります。

パッケージの内容を確認する

250 枚ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



250 枚ペーパーフィーダを取り付ける

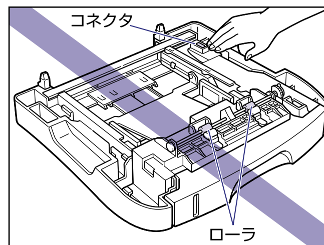
250 枚ペーパーフィーダは次の手順でプリンタの底面に取り付けます。



250 枚ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。



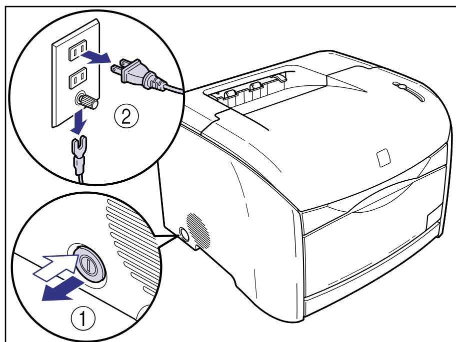
- ペーパーフィーダのコネクタやローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。



- 250 枚ペーパーフィーダには輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず梱包材を取り外してからご使用ください。

- 250 枚ペーパーフィーダの運搬や修理の際には、梱包材が必要になりますので、大切に保管してください。

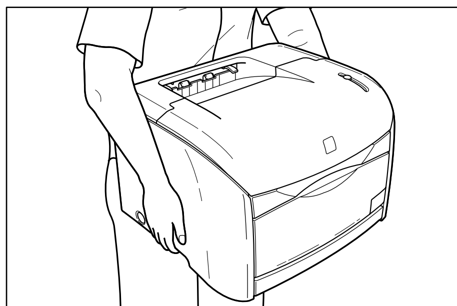
1 **電源スイッチを押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します ②。**



2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

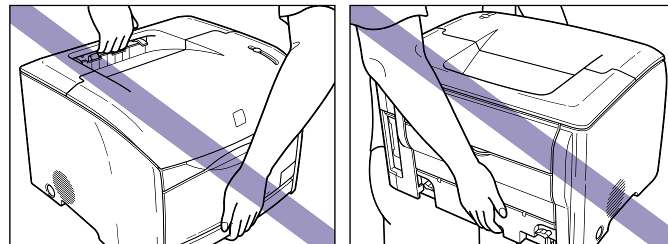
3 **プリンタ本体を設置場所から移動します。**

本体両側面の運搬用取っ手に手を掛けて、両手でしっかり持ってください。

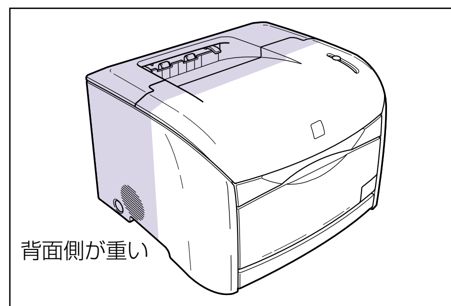


注意

- 本プリンタは、約 20.7kg(本体:約 15kg ／トナーカートリッジ× 4：約 3.2kg ／ドラムカートリッジ：約 2.5kg）あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に本体前面や排紙口、本体背面など、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

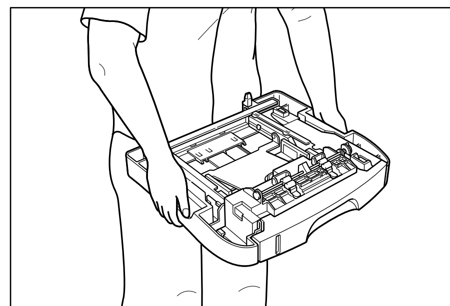


- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないよう注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

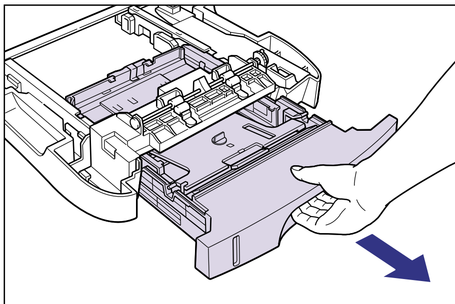


4 **ペーパーフィーダを設置場所に運びます。**

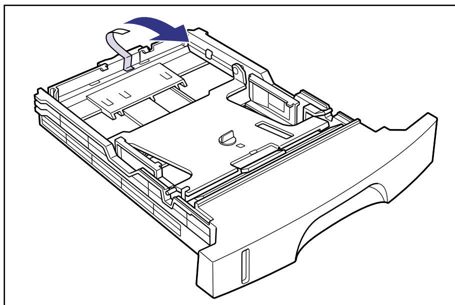
ペーパーフィーダは図のように、左右の取っ手を持って運んでください。



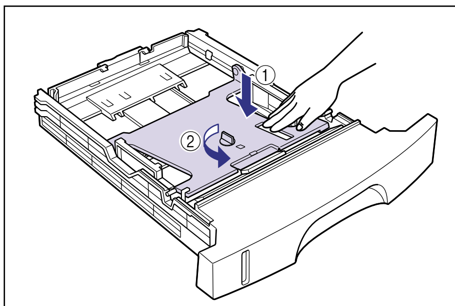
5 給紙カセットをペーパーフィーダから引き出します。



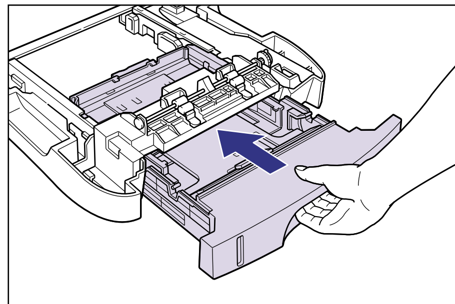
6 後側の用紙ガイドを止めているテープを取り外します。



7 給紙カセットのプレートを押しながら①、梱包材を左に回して取り外します②。

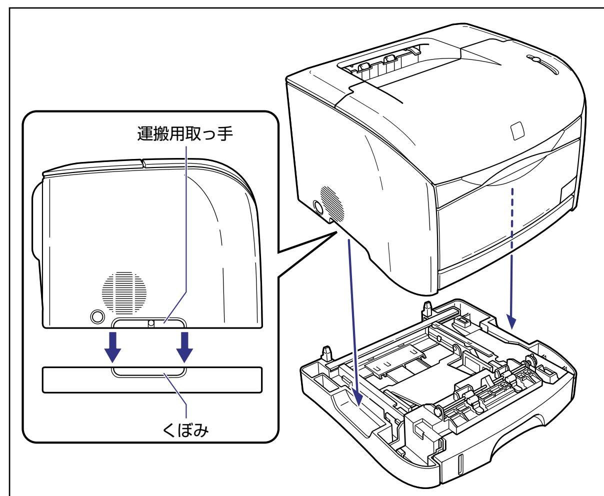


8 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。



9 プリンタ本体をペーパーフィーダにゆっくりと載せます。

プリンタの運搬用取っ手とペーパーフィーダのくぼみが合うように載せます。



⚠注意 プリンタはゆっくりと慎重にペーパーフィーダに載せてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

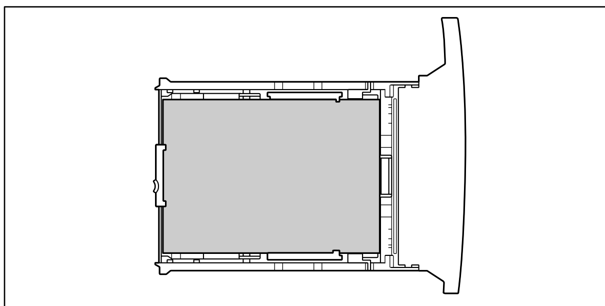
ステップ 6

10 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

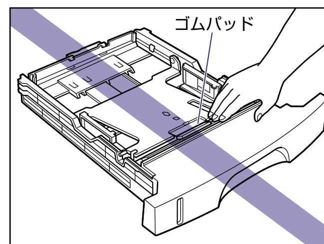
給紙カセットに用紙をセットする

250 枚ペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 1）には、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙を約 250 枚（64g/m^2 の用紙）までセットすることができます。
給紙カセットに用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

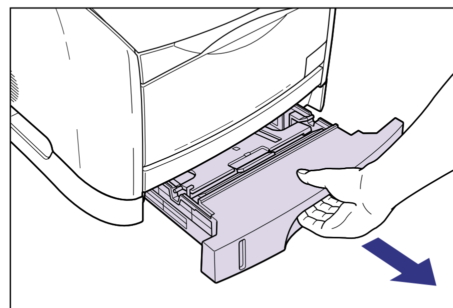


重要

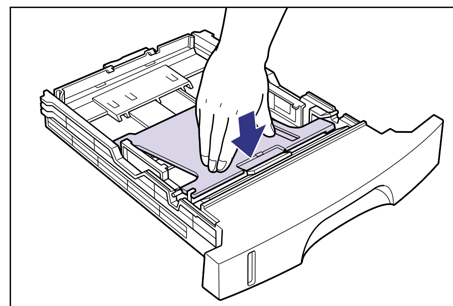
- ペーパーフィーダの設置後、はじめて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。
- プリント中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 普通紙（64 ～ 105g/m^2）以外の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（64g/m^2 の用紙）です。絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- 使用できる用紙の詳細は、ユーザーズガイド「第 2 章 給紙／排紙のしかた」を参照してください。
- セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- 給紙カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。



1 給紙カセットを引き出します。



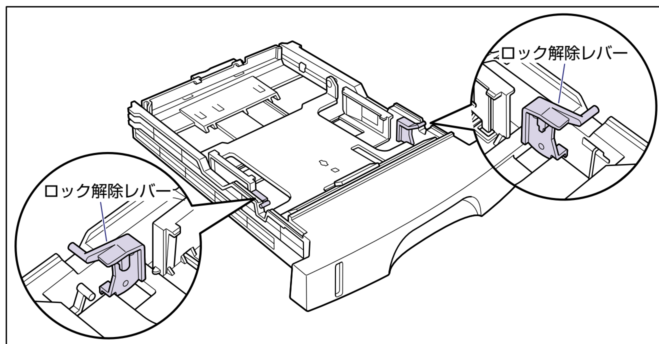
2 給紙カセットのプレートを押して、ロックします。



ステップ 6

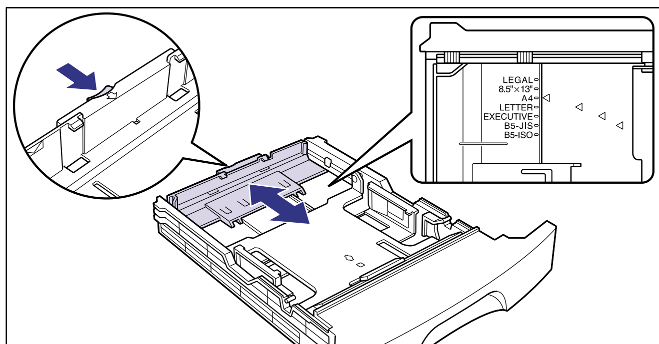


給紙カセットのプレートがロックされているときは、給紙カセットの左右にあるロック解除レバーには触れないでください。ロックが解除されてプレートが勢いよく上がり、けがの原因になることがあります。



3 **後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。**

用紙ガイドに記載されている用紙サイズと ◁ を合わせます。

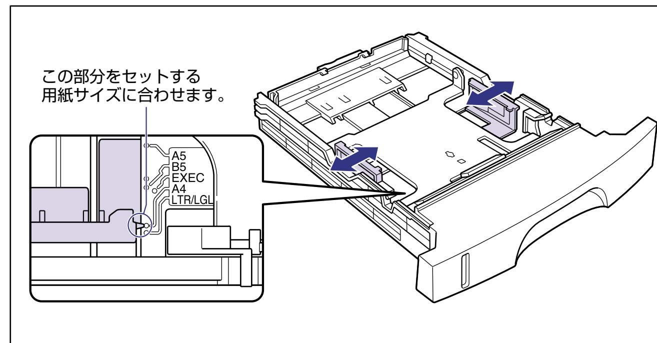




B5 サイズ（182mm × 257mm）を使用する場合は、用紙ガイドを「B5-JIS」に合わせてください。「B5-ISO」の位置は使用しません。また、「8.5" × 13"」の位置も使用しません。

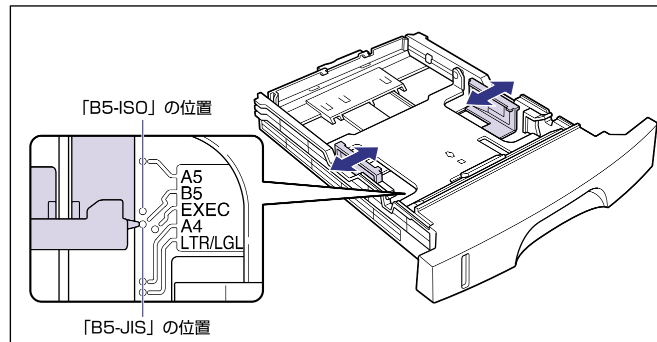
4 **側面の用紙ガイドをセットする用紙サイズの位置に合わせます。**

用紙ガイドを動かすときは、左右の用紙ガイドを持ってください。



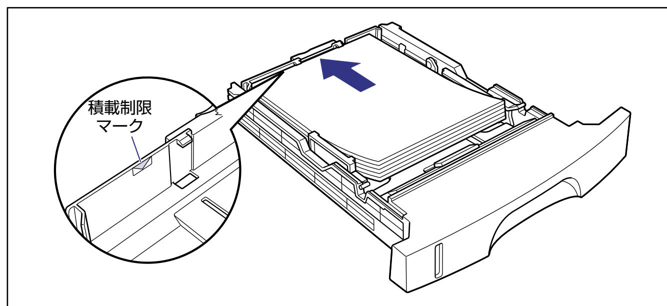


B5 サイズ（182mm × 257mm）を使用する場合は、用紙ガイドを図の位置（「B5-JIS」の位置）に合わせてください。「B5-ISO」の位置は使用しません。



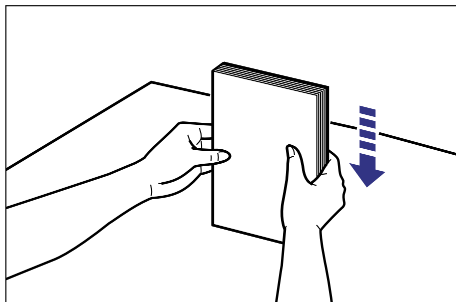
ステップ
6

5 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

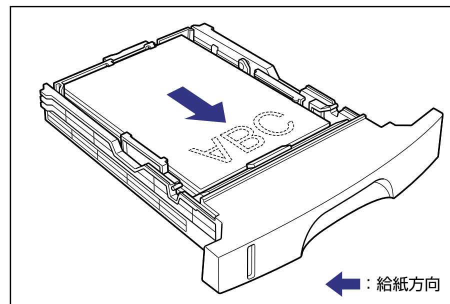


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズに合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズに合っていないと、給紙不良の原因になります。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約250枚（64g/m^2の用紙）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

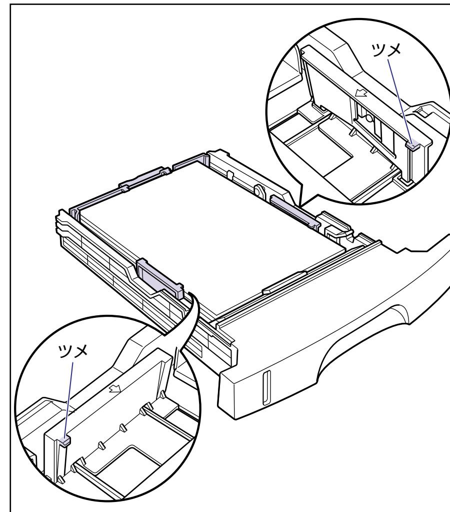


メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、用紙の表面（プリントする面）を下に向け、用紙の上端が手前になるようにセットします。



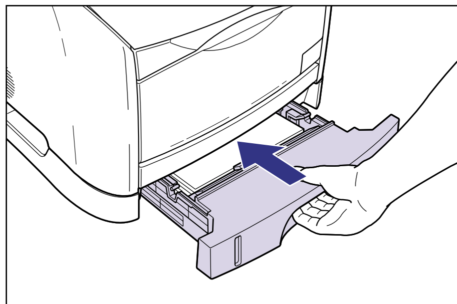
6 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙の左右を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。



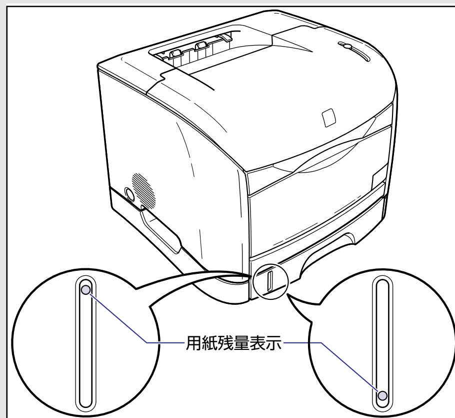
7 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



● 用紙残量表示について

給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示があります。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。



給紙カセットの用紙サイズを登録する

本プリンタの給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセット（カセット 1）にセットした用紙サイズを登録する必要があります。

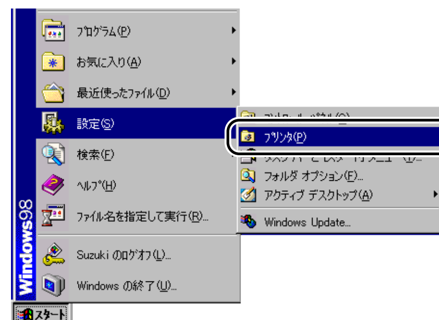
重要 印刷中は用紙サイズの登録はできませんので、印刷していないことを確認して登録してください。ただし、以下のメッセージが表示されている場合は、用紙サイズの登録はできます。

- 一時停止中です
- 用紙が指定と異なります
- 用紙がありません
- カセット 1 に XXX がありません。(XXX は用紙サイズ)

メモ ここでは Windows 98 をお使いの場合の画面で説明しています。

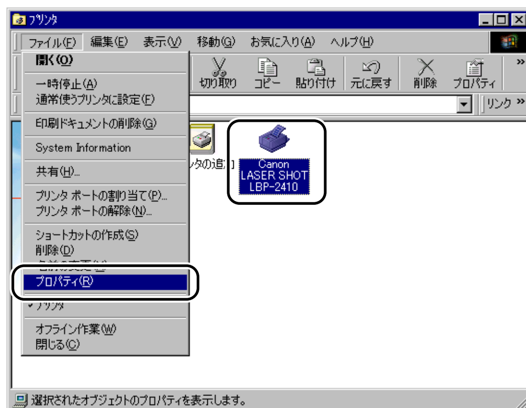
1 ［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニュー→［設定］→［プリンタ］の順でクリックします。
Windows XP Professional の場合は、［スタート］メニュー→［プリンタと FAX］の順でクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順でクリックします。



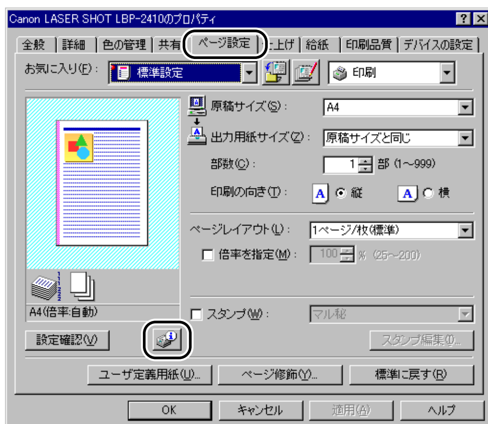
ステップ 6

2 ［Canon LASER SHOT LBP-2410］アイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］(Windows 98/Meの場合)、［印刷設定］(Windows 2000/XP の場合）を選択します。



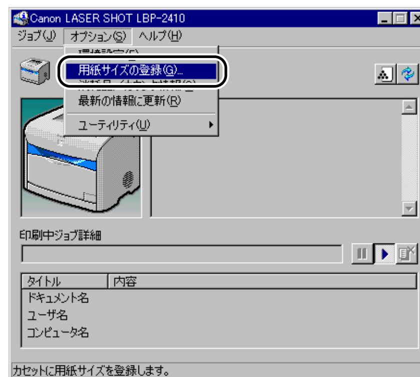
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［ ］(プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックします。



プリンタステータスウィンドウが表示されます。

4 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［用紙サイズの登録］を選択します。



［用紙サイズの登録］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［カセット 1］のリストから給紙カセットにセットした用紙サイズを選択し、［OK］をクリックします。

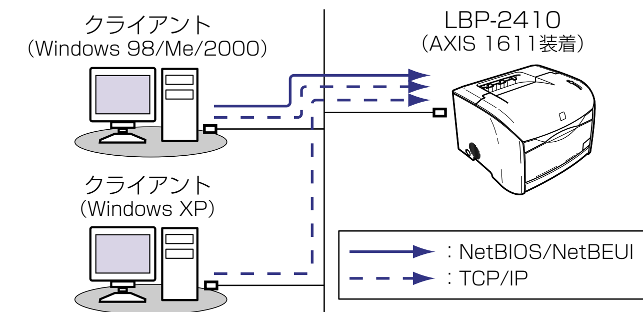


ネットワークボード（AXIS 1611）の取り付け

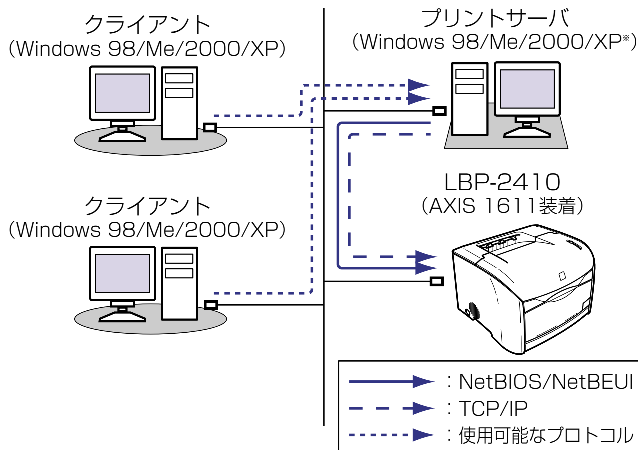
オプションのネットワークボード（AXIS 1611）を装着すると、LBP-2410をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

AXIS 1611 の詳細については、アクシスコミュニケーションズ（株）のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）を参照してください。

■ネットワークボードとコンピュータを直結する場合



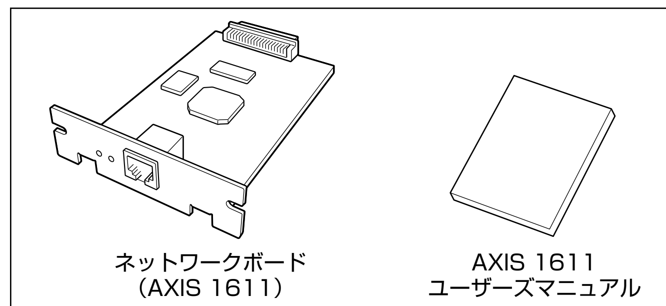
■プリントサーバを経由して接続する場合



※プリントサーバがWindows XPの場合、プリントサーバとプリンタ間のプロトコルにNetBIOS/NetBEUIは使用できません。

パッケージの内容を確認する

ネットワークボードを取り付ける前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



ネットワークボード（AXIS 1611）　　AXIS 1611 ユーザーズマニュアル

メモ　本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。お使いのネットワークに合わせてご用意ください。

ケーブルを用意する

本ネットワークボードをプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、接続するネットワークの種類に応じて次のような LAN ケーブルが必要です。あらかじめこれらのケーブルを準備してから作業を行ってください。

■10Base-T Ethernet ネットワークに接続する場合

UTP カテゴリ 3、4、5 ケーブル（両端に RJ45 コネクタが付いたシールドなしより対線）、または STP カテゴリ 3、4、5 ケーブル（両端に RJ45 コネクタが付いたシールドありより対線）が必要です。

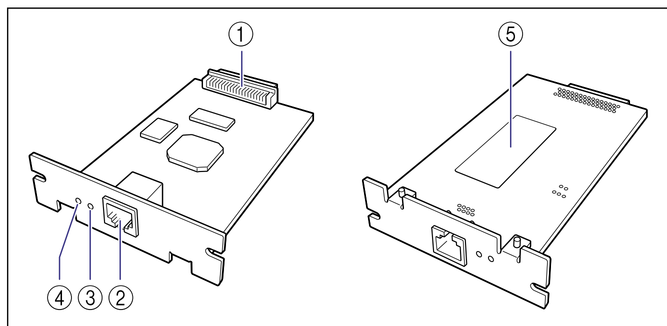
■100Base-TX Ethernet ネットワークに接続する場合

UTP カテゴリ 5 ケーブル（両端に RJ45 コネクタが付いたシールドなしより対線）、または STP カテゴリ 5 ケーブル（両端にRJ45 コネクタが付いたシールドありより対線）が必要です。

重要
- 本ネットワークボードは、上記以外のネットワークには接続できません。
- プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハブの増設が必要になります。

ステップ 6

各部の名称とはたらき



① プリンタ接続コネクタ
プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直接手を触れないでください。

② LAN コネクタ
10Base-T/100Base-TX の LAN ケーブル接続部です。

③ ステータスランプ
ネットワークボードの状態を示すランプです。LAN ケーブルを抜いた状態でランプが点滅している場合は、ネットワークボードに異常があります。

④ 電源ランプ
プリンタの電源を入れると点灯します。プリンタの電源をオンにしてもランプが点灯しない場合は、ネットワークボードに異常があります。

⑤ MAC アドレス表示ラベル
本ネットワークボードの MAC アドレスが記載されています。

ネットワークボードを取り付ける

ネットワークボードは次の手順でプリンタ背面の拡張ボードスロットに取り付けます。



- ネットワークボードを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。



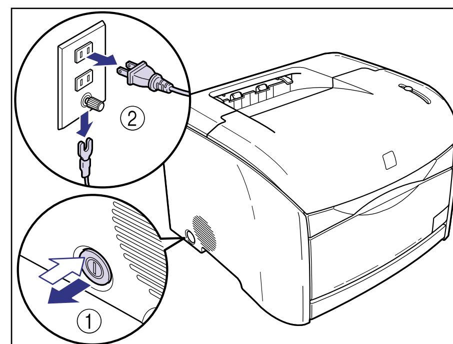
ネットワークボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。

- 一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
- 作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 静電気の影響を避けるために、ネットワークボードは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はネットワークボードを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。



ネットワークボードの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

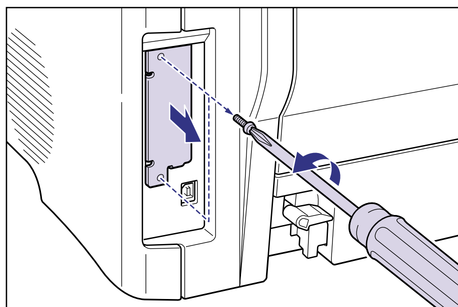
1 **電源スイッチを押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します ②。**



2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

ステップ 6

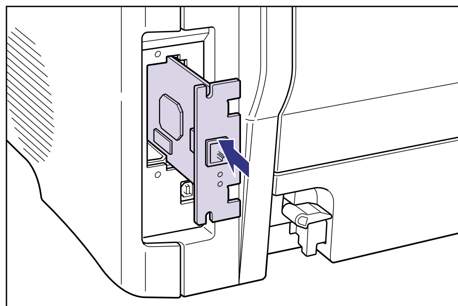
3 拡張ボードスロットの上下 2 本のネジを外して、保護板を取り外します。



重要　取り外した 2 本のネジは、ネットワークボードの取り付けに使用します。また、取り外した保護板は、ネットワークボードを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

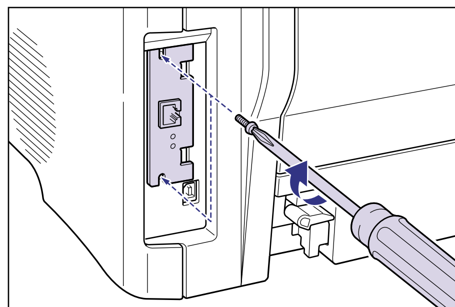
4 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。



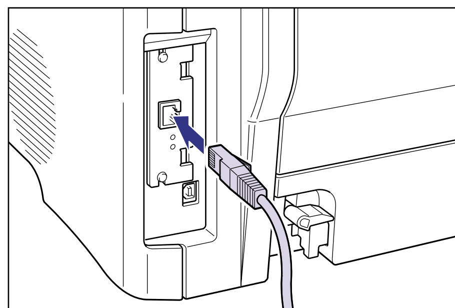
重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

5 ネットワークボードの上下を手順 3 で取り外した 2 本のネジで固定します。

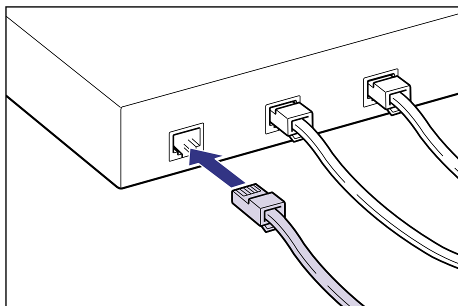


6 ネットワークボードの LAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードのLAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。



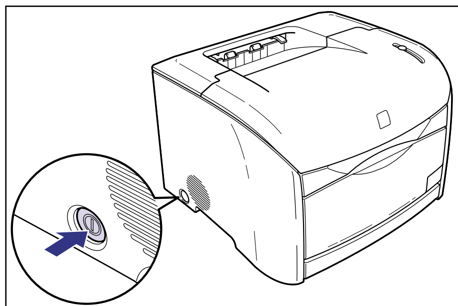
7 LAN ケーブルの反対側をハブに接続します。



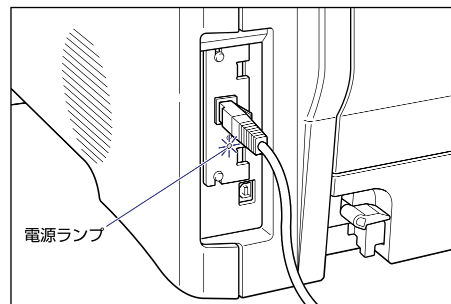
8 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

10 電源スイッチを押して、プリンタの電源をオンにします。



11 ネットワークボードの電源ランプが点灯していることを確認します。



ステップ 6

付録

CD-ROM について

■ CAPT (Canon Advanced Printing Technology) ソフトウェア、USB クラスドライバ

付属の CD-ROM に同梱されている CAPT (Canon Advanced Printing Technology) ソフトウェアは本プリンタを使用して印刷するために必要なソフトウェアです。お使いのコンピュータに必ずインストールしてください。USB クラスドライバは、USB ポートを使用して印刷するためのソフトウェアです。CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアおよび USB クラスドライバには以下のものがあります。

- Windows 98 用 CAPT プリンタドライバ
- Windows Me 用 CAPT プリンタドライバ
- Windows 2000 用 CAPT プリンタドライバ
- Windows XP 用 CAPT プリンタドライバ
- Windows 98 用 USB クラスドライバ

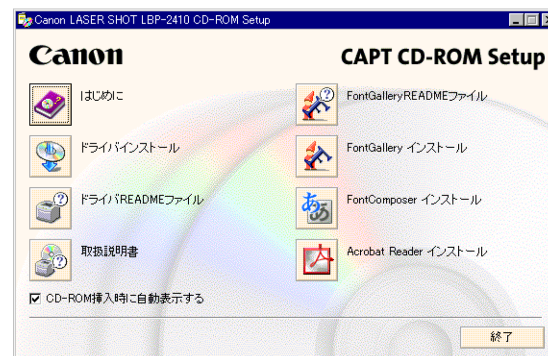
※ お使いになる前には、必ず［ドライバ README ファイル］をお読みください。

■ FontGallery（TrueType フォント）

FontGallery は、Microsoft Windows 対応の TrueType フォントです。Windows 98/Me、Windows 2000/XP 上のアプリケーションで自由に使うことができます。アウトラインフォントで作成され、フォントサイズも自由に変更して表示、印刷できます。
また、FontGallery の各書体と「かなデータ」を組み合わせて、新しい書体として登録するためのユーティリティ FontComposer もお使いいただけます。

CD-ROM メニューについて

本 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、次の CD-ROM メニューが自動的に表示されます。
CD-ROM メニューから各ソフトウェアのインストールなどを始めることができます。



●はじめに

このボタンをクリックすると、CD-ROM メニューについてのオンラインヘルプが表示されます。各項目をクリックするとその説明が表示されます。

●ドライバインストール

このボタンをクリックすると、セットアップウィザードが起動し、プリンタドライバのインストールを行います。

●ドライバ README ファイル

このボタンをクリックするとプリンタドライバの README ファイルが表示されます。このファイルにはオンラインヘルプや取扱説明書に記載されていない、個別の情報や重要な情報が記載されています。本プリンタをお使いになる前に、必ずお読みください。

●取扱説明書

このボタンをクリックすると [LBP-2410 取扱説明書] が表示されます。[設置時にお読みください]、[ユーザーズガイド] のどちらかをクリックすると、PDF マニュアルが表示されます。PDF マニュアルを表示するためには、あらかじめ Adobe Acrobat Reader をインストールしておく必要があります。

● Acrobat Reader インストール

このボタンをクリックすると Adobe Acrobat Reader のフォルダが開きます。言語のフォルダを選択し、インストーラを起動して Acrobat Reader をインストールしてください。

● 終了

CD-ROM メニューを閉じます。



- ［CD-ROM 挿入時に自動表示する］が選択されているとき本CD-ROMを CD-ROM ドライブにセットすると、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。
- ［FontGallery README ファイル］、［FontGallery インストール］、および［FontComposer インストール］についてはユーザーズガイドを参照してください。

LASER SHOT ご購入者アンケートご協力のお願い

この度は、キヤノンLASER SHOT シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
大変お手数ではございますが、下記 URL へアクセス後、質問事項にご回答ください。
ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。
なお、アンケートにご協力いただいた方の中から抽選でオリジナル記念品をプレゼントさせていただきます。（当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。）

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称とシリアルナンバーを入力していただく必要があります。
例） 商品名称　LBP-2410
シリアルナンバー　LNEA000001（保証書および上カバー内部、梱包箱外側に記載されています。）

http://cweb.canon.jp/lbp/enq.html

Canon キヤノンお客様ご相談窓口 一覧表

ご相談窓口のご案内

お客様相談センター
（全国共通番号）


0570－01－9000

（商品該当番号：42）

全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号<42>または「レーザショット」とお話しください。

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝祭日> 10:00～17:00（1/1～3を除く）

※PHSまたは海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は、043-211-9627をご利用ください。
※音声応答システム･受付時間･該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売（株）販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合は、上記のお客様相談センターにご相談ください。

修理受付窓口

LASER SHOT LBP-2410の修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。
下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
（但し、東京QRセンター・新宿サービスセンターの営業時間は 10:00AM～6:00PM、休業日は 日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

お願い：LASER SHOT LBP-2410のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北 海 道 地 区

※札幌サービスセンター TEL 011 (728) 0665
〒060-8522 北海道札幌市北区北７条西1-1-2
ＳＥ山京ビル１Ｆ 札幌支店内

東 北 地 区

※仙台サービスセンター TEL 022 (217) 3210
〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1
仙台パークビルヂング１Ｆ 仙台支店内



本書は、本文に100%の再生紙を使用しています。
リサイクルに配慮して製本されていますので、不要となった際は、回収リサイクルに出しましょう。

修理受付窓口

関 東 ・ 信 越 地 区

※大宮サービスセンター TEL 048 (649) 1450
〒331-8544 埼玉県さいたま市桜木町4-247 ＯＳビル１Ｆ 大宮営業所内

東 京 ・ 神 奈 川 ・ 山 梨 地 区

東京QRセンター（持込のみ） TEL 03 (3837) 2961
〒110-0005 東京都台東区上野1-1-12 信井ビル１Ｆ
新宿サービスセンター（持込のみ） TEL 03 (3348) 4725
〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル１Ｆ
※キヤノンテクニカルセンター TEL 0297 (35) 5000
〒306-0605 茨城県岩井市大字馬立1234 F7棟3F
（郵送・宅配のみ）
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送りください。
※横浜サービスセンター TEL 045 (312) 0211
〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 ＨＩ横浜ビル２Ｆ
横浜営業所内

中 部 ・ 北 陸 地 区

※名古屋QRセンター TEL 052 (939) 1830
〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル１Ｆ
名古屋支店内

近 畿 地 区

※大阪QRセンター TEL 06 (6942) 7418
〒540-0003 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

中 国 ・ 四 国 地 区

※広島サービスセンター TEL 082 (240) 6712 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3-7-5
広島パークビルヂング１Ｆ 広島支店内
※高松サービスセンター TEL 087 (823) 4681
〒760-0027 香川県高松市紺屋町4-10 鹿島紺屋町ビル１Ｆ 高松支店内

九 州 地 区

※福岡サービスセンター TEL 092 (411) 4173
〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島1-2-1
キヤノン販売福岡ビル１Ｆ 福岡支店内

2002年10月1日現在 上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

キヤノン販売株式会社 〒108-8011 東京都港区三田3-11-28
Canonホームページ：http://canon.jp

PUB. R-IJ-1126AA